

小金井市長期計画起草委員会【環境と都市基盤】（第1回）次第

日時 平成27年4月13日（月）18時から

場所 第2庁舎8階 802会議室

【次第】

- 1 前期基本計画と後期基本計画（素案）の施策新旧対照表について  
（18：00～18：10）10分  
（資料1：前期基本計画と後期基本計画（素案）の施策新旧対照表）
- 2 後期基本計画（素案）について（18：10～19：55）105分  
（資料2：施策検討シート、資料3：平成26年度施策マネジメント評価結果）
- 3 その他（19：55～20：00）5分  
第4回起草委員会の日程調整について

小金井市長期計画起草委員会

配 付 資 料 一 覧

	No.	資 料 名	備 考
第 1 回 (4月13～17日)	1	前期基本計画と後期基本計画（素案）の施策新旧対照表	【事前配布】
	2	施策検討シート	【事前配布】
	3	平成26年度施策マネジメント評価結果	【事前配布】

前期基本計画と後期基本計画(素案)の施策新旧対照表

起草資料1

後期基本計画(素案)において変更した施策については、備考に理由を付記しています。

<環境と都市基盤>

【前期基本計画】				【後期基本計画(素案)】			
施策分野	前期番号	施策名	※	施策分野	後期番号	施策名	備考
						環境基本計画の計画的推進	保留
みどりと水	1	みどりを育む仕組みづくり	○	みどりと水	1	みどりを育む仕組みづくり	
	2	みどりの保全	○		2	みどりの保全	
	3	みどりの創出	○		3	みどりの創出	
	4	水辺の拡大			4	水辺の拡大	
ごみとまちの美化	5	循環社会の形成	○	ごみとまちの美化	5	循環社会の形成	
	6	ごみの処理	○		6	ごみの処理	
	7	まちの美化			7	まちの美化	
環境保全	8	環境にやさしい仕組みづくり		環境保全	8	環境にやさしい仕組みづくり	
	9	地球環境への負荷の軽減	○		9	地球環境への負荷の軽減	
	10	公害発生防止体制の充実			10	公害発生防止体制の充実	
市街地整備	11	まちの顔となる駅周辺の整備	○	市街地整備	11	魅力的な市街地	※ 前期基本計画の主な事業の終了に伴い、施策の順番を変更した。
	12	魅力的な市街地	○		12	まちの顔となる駅周辺の整備	※ 前期基本計画の主な事業の終了に伴い、施策の順番を変更した。
住宅・住環境	13	良質な住宅の供給	○	住宅・住環境		(施策15と統合)	※ 都市計画マスタープラン及び住宅マスタープランの上位計画との整合性を図るため、施策の統合を図った。
	14	快適な住環境の整備			13	快適な住環境の整備	
	15	安全な住環境の整備			14	安全で良質な住環境の整備	※ 都市計画マスタープラン及び住宅マスタープランの上位計画との整合性を図るため、施策の統合を図った。
	16	水の安定供給				(削除)	※ 前期基本計画の主な事業の終了に伴う削除。
	17	下水道の維持管理			15	下水道の維持管理	
道路・河川	18	道路の整備	○	道路・河川	16	道路の整備	
	19	人にやさしい交通環境の整備			17	人にやさしい交通環境の整備	
	20	公共交通機関の整備	○		18	公共交通機関の整備	
	21	河川などの整備			19	河川などの整備	

## 前期基本計画と後期基本計画(素案)の施策新旧対照表

後期基本計画（素案）において変更した施策については、備考に理由を付記しています。

### <地域と経済>

【前期基本計画】				【後期基本計画(素案)】			
施策分野	前期番号	施策名	※	施策分野	後期番号	施策名	備考
コミュニティネットワーク	22	協働のまちづくりの推進	○	コミュニティネットワーク	20	協働のまちづくりの推進	
	23	地域情報ネットワークの推進	○		21	地域情報ネットワークの推進	
地域安全	24	危機管理体制の充実		地域安全	22	危機管理体制の充実	
	25	防災コミュニティづくり	○		23	防災コミュニティづくり	
	26	防災機能の強化			24	防災機能の強化	
	27	防犯体制の強化	○		25	防犯体制の強化	
創意的産業	28	産業振興の計画的推進		創意的産業		産業振興の計画的推進	保留
	29	産業基盤の整備	○		26	産業基盤の整備	
	30	創造的産業の支援	○		27	創造的産業の支援	
商業	31	商業振興の計画的推進		商業		商業振興の計画的推進	保留
	32	商業環境の整備	○		28	商業環境の整備	※ 事業ごとに施策が細分化されていたが、総合的に施策を実施した方が効果的であるため、施策の統合を図った。
	33	魅力ある商業・商店街づくりの推進	○				
	34	地域商業の育成・支援					
	35	地域資源をいかした観光の推進	○		29	地域資源をいかした観光の推進	
工業	36	工業の振興		工業	30	工業の振興	
農業	37	農業基盤の確立		農業	31	農業基盤の確立	
	38	農業との交流推進	○		32	農業との交流推進	
消費者生活・勤労者福祉	39	安全安心な消費生活支援		消費者生活・勤労者福祉	33	安全安心な消費生活支援	
	40	勤労者福祉の向上			34	勤労者福祉の向上	
雇用	41	雇用機会の拡大		雇用	35	雇用機会の拡大	



## 前期基本計画と後期基本計画(素案)の施策新旧対照表

後期基本計画（素案）において変更した施策については、備考に理由を付記しています。

### <文化と教育>

【前期基本計画】				【後期基本計画(素案)】			
施策分野	前期番号	施策名	※	施策分野	後期番号	施策名	備考
						芸術文化振興計画の計画的推進	保留
文化・芸術	42	総合的な文化振興の推進		文化・芸術	36	総合的な文化振興の推進	
	43	文化施設の効率運営	○		37	文化施設の効率運営	
	44	文化交流の推進	○		38	文化交流の推進	
人権・平和・男女共同参画	45	人権・平和に関する施策の推進	○	人権・平和・男女共同参画	39	人権・平和に関する施策の推進	
	46	男女共同参画の推進	○		40	男女共同参画の推進	
生涯学習	47	生涯学習の計画的推進		生涯学習		生涯学習の計画的推進	保留
	48	活動の場の充実	○		41	活動の場の充実	
	49	生涯学習活動の推進	○		42	生涯学習活動の推進	
スポーツ・レクリエーション	50	スポーツ・レクリエーション活動の支援	○	スポーツ・レクリエーション	43	スポーツ・レクリエーション活動の支援	
	51	スポーツ・レクリエーション施設の活用	○		44	スポーツ・レクリエーション施設の活用	
学校教育	52	学校教育の計画的推進		学校教育		学校教育の計画的推進	保留
	53	教育内容・教育方法の充実	○		45	教育内容・教育方法の充実	
	54	学習環境の整備・充実	○		46	学習環境の整備・充実	
幼児教育	55	家庭と地域の共同教育の推進	○	幼児教育	47	幼児教育の充実	※ 子ども・子育て支援新制度に伴う施策内容の変更により、施策の統合を図った。
	56	幼児教育の充実					

## 前期基本計画と後期基本計画(素案)の施策新旧対照表

後期基本計画（素案）において変更した施策については、備考に理由を付記しています。

### <福祉と健康>

【前期基本計画】				【後期基本計画(素案)】			
施策分野	前期番号	施策名	※	施策分野	後期番号	施策名	備考
						保健福祉総合計画の推進	保留
地域福祉	57	地域福祉の推進	○	地域福祉	48	地域福祉の推進	
	58	低所得者・生活困窮者等福祉の充実			49	低所得者・生活困窮者等福祉の充実	
高齢者福祉	59	高齢者の活躍の場づくり	○	高齢者福祉	50	高齢者の活躍の場づくり	
	60	高齢者の生活支援	○		51	高齢者の生活支援	
	61	介護予防事業の充実	○		52	介護予防事業の充実	
	62	介護保険事業の充実	○		53	介護保険事業の充実	
						総合的な子ども家庭福祉の推進	保留
子ども家庭福祉	63	子育て支援	○	子ども家庭福祉	54	子育て支援	
	64	子育て家庭の支援	○		55	子育て家庭の支援	
	65	地域の子育て・子育て環境の充実	○		56	地域の子育て・子育て環境の充実	
障がい者福祉	66	ノーマライゼーションの推進	○	障がい者福祉	57	ノーマライゼーションの推進	
	67	日常生活の支援	○		58	日常生活の支援	
	68	医療との連携			59	医療との連携	
健康・医療	69	保健活動の充実	○	健康・医療	60	保健活動の充実	
	70	医療体制の充実	○		61	医療体制の充実	
	71	医療保障制度の充実			62	医療保障制度の充実	

## 前期基本計画と後期基本計画(素案)の施策新旧対照表

後期基本計画（素案）において変更した施策については、備考に理由を付記しています。

### <計画の推進>

【前期基本計画】				【後期基本計画(素案)】			
施策分野	前期番号	施策名	※	施策分野	後期番号	施策名	備考
市民参加・市民協働	72	市民ニーズの把握と共有化	○	市民参加・市民協働	63	市民ニーズの把握と共有化	
	73	わかりやすい情報発信と適正な情報管理			64	わかりやすい情報発信と適正な情報管理	
	74	市民参加の推進	○		65	市民参加の推進	
	75	市民協働の推進	○		66	市民協働の推進	
行政経営	76	更なる行財政改革の推進		行政経営	67	自律した行政経営の推進	※ 第3次行財政改革大綱の終了に伴い、新たな行財政改革大綱を策定するため施策の統合を図った。
	77	組織の活性化と人材の育成・活用			68	組織の活性化と人材の育成・活用	
	78	自律した行政経営の推進				(施策76と統合)	※ 第3次行財政改革大綱の終了に伴い、新たな行財政改革大綱を策定するため施策の統合を図った。
計画的行政	79	計画とマネジメントの整備	○	計画的行政	69	計画とマネジメントの整備	
	80	広域行政の推進			70	広域行政の推進	
財政・財務	81	安定した財政運営の確立		財政・財務	71	安定した財政運営の確立	
	82	歳入の安定			72	歳入の安定	
	83	歳出の適正化			73	歳出の適正化	



施策分野	みどりと水
------	-------

## 1. 施策名

No.	1	みどりを育む仕組みづくり	
-----	---	--------------	--

## 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するための課題があるか)

私たちの住む小金井市では、市民と協働で行う活動が定着しつつあります。平成23年度から平成25年度にかけて、市民との協働による公園づくり、東京都の苗木供給事業を活用した苗木の植栽・配布を実施してきました。公園・緑地の面積は着実に増加し、市民ボランティアの活動実績も増加していますが、それを維持管理していくことも不可欠となります。

## 3. 施策の方向性(目指す姿)

市民の自然を守る心を高め、市民参加による公園・緑地づくりなど、みどりを育む仕組みづくりを進めます。

施策分野	みどりと水
------	-------

1. 施策名		
No.	2	みどりの保全

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)		
<p>私たちの住む小金井市は、僅か4km四方の市の中に、広大な3つの都市公園があり、国分寺崖線(はけ)など豊かな自然環境に恵まれています。</p> <p>これまで、昭和48年度に設置された緑地保全対策審議会で緑地保全のあり方を検討するとともに、市内のみどりを守る取組を行ってきました。</p> <p>しかし、特別緑地保全地区の指定拡大や都市公園の拡張整備は進んでいますが、市内の緑地と農地は減少傾向が続いており、身近なみどりが失われつつある状況です。継続して環境保全緑地の指定推進や保存樹木の指定等を活用し、みどりの保全により減少傾向に歯止めをかけることが課題となっています。</p>		

3. 施策の方向性(目指す姿)		
<p>国分寺崖線(はけ)や玉川上水などをはじめとする市内のみどりと水の保全に取り組めます。</p>		

施策分野	みどりと水
------	-------

1. 施策名	
No.	3 みどりの創出

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)	
<p>私たちの住む小金井市は、広大な面積を有する3つの都立公園が立地するなど、近隣市のなかでもみどり豊かな環境にあり、公園面積も年々拡大しています。また、一人あたり公園面積も近隣市に比し高い水準にあります。</p> <p>平成23年度からは平成25年度にかけて滄浪泉園隣接地、小長久保公園、貫井けやき公園の整備を行うとともに、住宅地や民間施設へ緑化の指導、道路の植栽帯、遊歩道等の補植を実施してきました。</p> <p>しかし、市内の緑地は減少傾向にあり、みどりの保全により歯止めをかけるとともに、新たなみどりを創出する取組みを更に進める必要があります。</p>	

3. 施策の方向性(目指す姿)	
<p>公園、公共施設、道路などの緑化を進めることにより、みどりのネットワークの形成を図り、みどりの創出を推進します。</p>	

施策分野	みどりと水
------	-------

### 1. 施策名

No.	4	水辺の拡大	
-----	---	-------	--

### 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

私たちの住む小金井市の特徴でもある、国分寺崖線(はげ)から湧き出る湧水や野川、玉川上水などの豊かな生態系や景観を形成する水辺環境があり、市民の憩いの場所となっています。

一方、都市化の進展は、水の循環に大きな影響を与えています。

市ではこれまで、地下水や湧水を保全するため、地下水保全会議での検討、井戸水調査・湧水調査による地下水の現況の把握、雨水浸透施設・雨水貯留施設の助成、建物の新築・増改築の際に雨水浸透施設の設置指導、近隣市で構成される砂川用水連絡協議会での協議調整等を実施しています。

特に雨水の下水道管への流入を抑制し、資源の再利用を促すため、雨水浸透施設および雨水貯留施設の設置を促進しており、「雨水浸透ます」については世界に誇る水準となっています。

今後も、地下水・湧水の保全に取り組むとともに、これまでの雨水の地下浸透を更に推進するためには、道路雨水の浸透対策が必要となっています。

### 3. 施策の方向性(目指す姿)

地下水の涵養と湧水の回復のため雨水の貯留浸透を進めることにより、清流の復活に取り組むだけでなく、更なる水辺の創出を推進していきます。

施策分野	ごみとまちの美化
------	----------

1. 施策名		
No.	5	循環型社会の形成

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)		
<p>生活環境の保全及び経済の健全な発展に寄与するためには、大量生産、大量消費及び大量廃棄に支えられた社会経済・ライフスタイルを見直し、環境への負荷の少ない循環型社会の形成が求められます。ごみの処理は市民生活を支える基礎的な市民サービスであり、ごみ対策は、市民が市政に望む最重要項目のひとつとなっています。</p> <p>本市の可燃ごみを焼却処理していた二枚橋焼却場は施設の老朽化から順次焼却炉を停止することとなり、平成18年10月に「ごみ非常事態宣言」を発し、平成19年3月に全焼却炉を停止することとなりました。そのため、平成19年4月以降、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱に基づき、多摩地域の自治体及び一部事務組合に可燃ごみ処理の支援を要請しているところです。また、本市の資源化することができない不燃系ごみの一部は、本市を含む25市1町で構成される東京たま広域資源循環組合が運営する最終処分場である日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場で埋立処分を行っています。更に、可燃ごみを焼却処理した後に発生する焼却灰は、同組合が運営する東京たまエコセメント化施設でセメント原料としてリサイクルすることで、最終処分場の延命化が図られています。</p> <p>私たちの住む小金井市では、広報媒体、キャンペーン及びイベントなど市民へ情報発信できる機会を活用してごみの減量に向けた取組を推進しています。地域における市民や事業者の協力により、ごみ減量は進んでいますが、循環型社会の形成に向けて、そして、各施設周辺住民及び関係者の負担を少しでも軽減していくため、更なるごみ減量に取り組むことが重要です。</p>		

3. 施策の方向性(目指す姿)		
<p>将来にわたる安定した円滑な廃棄物処理を念頭に、限りある資源を大切に使い、循環利用、有効活用に努め、環境への負荷の少ない持続可能な循環型社会の形成に向けて、市民、事業者、行政が一体となり、発生抑制(リデュース)を最優先とした3R(発生抑制(リデュース)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用))を推進していきます。</p>		

施策分野	ごみとまちの美化
------	----------

1. 施策名	
No.	6 ごみの処理

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)
<p>可燃ごみの処理については、平成24年4月に日野市へ可燃ごみの共同処理を申し入れて以降、継続して協議を行い、平成26年1月16日に、日野市、国分寺市、小金井市は、新可燃ごみ処理施設の整備によるごみ処理の広域化について基本合意し、「新可燃ごみ処理施設の整備及び運営に関する覚書」を締結しました。</p> <p>この覚書に基づき、3市での共同処理に向けた取組を推進し、新可燃ごみ処理施設の設置に必要な手続きを実施するとともに、平成27年度に、ごみ処理施設の設置及び運営などを行う一部事務組合を設立し、平成31年度中の新可燃ごみ処理施設の稼働を目指し、準備を進めています。</p> <p>また、不燃ごみや粗大ごみについては、中間処理場の老朽化を考慮し、地域住民のご理解・ご協力を得ながら施設の再整備に取り組まなければなりません。</p>

3. 施策の方向性(目指す姿)
<p>将来にわたり安全で安定的なごみ処理を行うため、日野市及び国分寺市と連携し、可燃ごみの処理体制の確立を図っていきます。</p> <p>さらに、不燃・粗大ごみを処理している中間処理場については、施設の老朽化に対応し、循環型社会の形成に資する施設の再整備に向けて、地域住民との協議を進めます。また、その他の廃棄物関連施設機能のあり方についても検討していきます。</p>

施策分野	ごみとまちの美化
------	----------

1. 施策名		
No.	7	まちの美化

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するための課題があるか)	
<p>まちの美化については、ごみゼロ化推進員をはじめとする市民や事業者との協働による地域における一斉美化清掃などの取組により、清潔で美しいまちづくりが推進されています。</p> <p>一方で、市域内におけるごみの投棄も見受けられる状況であることから、ごみの投棄を防止し、美化マナーの確立に向けた取組を更に推進していくことが必要です。</p>	

3. 施策の方向性(目指す姿)	
<p>まちの美化については、「ごみを捨てない」という教育と一体となった意識啓発や地域ぐるみの清掃活動、喫煙マナーの向上など、市民の協力を得て清潔で美しいまちづくりを推進していきます。</p>	

施策分野	環境保全
------	------

### 1. 施策名

No.	8	環境にやさしい仕組みづくり	
-----	---	---------------	--

### 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

私たちの住む小金井市では、環境に配慮した住宅を市内で普及を図ることを目指し、平成24年6月に開設した環境配慮住宅型研修施設により市民団体や市内大学との連携が進んでいます。また、毎年、環境市民会議との共催で環境フォーラム、環境講座、環境施設見学会等を開催し、市内及び近隣市の環境団体との交流や市内大学との協働も進んでいます。今後は、さまざまな主体の連携をはかり、小金井らしい創造的な環境保全活動を一層進めていくことが課題です。

### 3. 施策の方向性(目指す姿)

環境学習の推進、環境に対する意識や情報の共有、市・市民・事業者及び教育機関が協力して環境保全行動を実践できる、仕組みづくりと機能構築する。

施策分野	環境保全
------	------

1. 施策名		
No.	9	地球環境への負荷の軽減

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)		
<p>私たちの住む小金井市では、地域の地球温暖化対策として、平成22年に地球温暖化対策地域推進計画を策定し、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金、エコドライブ教習会の開催、グリーンカーテン用種子の配布等の施策に取り組んできました。また、平成23年度には環境配慮住宅型研修施設が完成し、施設でのさまざまな環境啓発活動も行われています。しかし、環境配慮住宅型研修施設については、利用率の向上のため、市民団体の方とも協力しながら、積極的なPRをするなど効果的な活用に努める必要があります。</p> <p>環境基本計画は計画期間の終了に伴い、地球温暖化対策地域推進計画は中間見直し年にあたり、両計画とも平成26年度に改訂しました。公共施設においても省エネ・節電に努めていますが、東日本大震災による原子力発電所停止の影響があり、一時的に温室効果ガス排出量の数値が増加した時期がありますが、新たに策定された計画に基づき、温室効果ガスの排出削減を推進していく必要があります。</p>		

3. 施策の方向性(目指す姿)		
<p>地域から地球環境を保全する取組を進めるため、地球温暖化対策の計画的な推進や再生可能エネルギーの導入促進などにより、環境にやさしい仕組みづくりを進め、地球環境への負荷の軽減を図ります。</p>		

施策分野	みどりと水
------	-------

1. 施策名		
No.	10	公害発生防止体制の充実

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)	
<p>みどりと水をはじめとする豊かな自然は地域の財産であり、その豊かな自然環境と共生した、健康で安全に暮らせる生活環境をつくり、守っていくことが求められています。</p> <p>住宅都市である本市は、工場や事業所による騒音や振動、悪臭、水質汚濁など目立った公害は発生していませんが、野外焼却による煙害や家庭生活からの騒音など生活型公害への苦情が多くなっています。</p> <p>さらに、放射能やPM2.5の問題など、新たな環境問題に対する取組が求められています。</p>	

3. 施策の方向性(目指す姿)	
<p>大気、水質、騒音、振動など環境基準が定められた公害について調査・測定を継続的に行います。</p> <p>また、東日本大震災以降、深刻な社会問題となっている放射線測定についても継続的に行っていきます。</p>	

施策分野	市街地整備
------	-------

## 1. 施策名

No.	11	魅力的な市街地	
-----	----	---------	--

## 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

私たちの住む小金井市は、自然豊かなみどりが残されているものの、市内に残された農地等は減少しており、身近なみどりの保全をはじめとした住環境保全や、住宅地内の開発に伴う環境変化の対応など、土地利用の規制誘導が必要です。また、きめ細やかなまちづくりを進めるために、これまで4地区の地区計画の決定やまちづくり条例の制定・施行を進め、市民との協働によるまちづくりに向けた取組みを展開してきました。

今後も、市民の利便性の高い拠点整備を進めるとともに、市民が主体となった地区計画などによるまちづくりを推進していくことが必要とされています。

また、高齢者や障がいのある人も誰もが利用しやすい環境整備を目指して、平成19年度にバリアフリーのまちづくり基本構想を策定し、平成26年度には新小金井駅のバリアフリー化を行い、重点整備地区である市内の鉄道駅全てがバリアフリー化されました。

## 3. 施策の方向性(目指す姿)

小金井らしさを代表する豊かな水やみどりを活かす環境づくりと、市民一人ひとりが安全、安心、豊かさ、喜びなどを実感でき、小金井らしい個性と魅力を備えた都市空間の整備を目指します。

施策分野	市街地整備
------	-------

1. 施策名	
No.	12 まちの顔となる駅周辺の整備

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)
<p>平成7年から開始したJR中央本線連続立体交差事業は平成25年度に事業完了し、上下線とも高架化され市内の南北交通は大幅に円滑化しました。また、高架下の利活用として、自転車駐車場、東小金井事業創造センターも整備されたところです。</p> <p>武蔵小金井駅では駅南口第1地区第一種市街地再開発事業で交通広場が整備され、各公共交通機関を結ぶ交通結節点としての機能が改善しました。また、南口第2地区では、平成26年8月に第一種市街地再開発事業の都市計画決定がなされ、施行予定者である地元準備組合が早期事業化に向けた積極的な取組を行っており、着実な事業化に向け、必要な支援を行います。</p> <p>同駅北口では、南口再開発やJRの高架下の商業施設の進出による商業環境の変化に対応する、賑わいの再生が求められており、地元の方々が老朽化した大規模店舗の建替えを含めた北口の再生(市街地再開発事業等)を検討しています。</p> <p>また、東小金井駅周辺では、東小金井駅北口土地区画整理事業などにより、農地や貨物駅跡地等の低未利用地と、駅周辺の基盤整備がなされないまま一部宅地化が進んだ住宅地について、交通広場等の公共施設の整備改善を行うなど、東部地区の中心として一部に商業、業務機能を持たせた地区として整備を進めてきました。更なる住宅地・商業地等の計画的な発展による健全な市街地の形成を図り、安全・快適・便利な市街地環境の創出が必要とされています。</p> <p>今後も駅周辺のまちづくりを進め、都市基盤の更なる充実など市民の利便性の高い拠点整備を進めるとともに、住民が主体となったまちづくりを推進していくことが必要とされています。</p>

3. 施策の方向性(目指す姿)
<p>武蔵小金井駅周辺は、本市の玄関口にふさわしいまちとするため、引き続き、再開発などにより、商業・業務及び住宅との調和のとれた魅力ある文化性の高い総合拠点として整備します。</p> <p>東小金井駅周辺は、土地区画整理事業などにより、東部地区の中心として一部に商業、業務機能を持たせた副次拠点として整備を推進します。</p> <p>新小金井駅周辺は、みどりあふれる武蔵野公園、野川公園の玄関口として、水とみどりのネットワーク形成を進めるなど自然環境をいかした市街地を目指します。</p>

施策分野	住宅・住環境
------	--------

### 1. 施策名

No.	13	快適な住環境の整備	
-----	----	-----------	--

### 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

私たちの住む小金井市は、土地利用の約8割が住宅地として利用されている住宅都市です。本市の特徴として、低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するために定める第一種低層専用地域の割合は約65.1%で、近隣市の平均約58.2%を上回っており、快適な住環境となっています。今後も、良好な住環境を維持するとともに、住宅地を取り巻く環境の変化などに併せて適切に土地利用を誘導していく必要があります。

良好な住宅地としての環境を維持する一方で、住宅地を取り巻く環境の変化などへの対応等、適切な土地利用を誘導していく必要があります。

また、市街化区域農地の宅地化に当たっては、宅地の狭小化を抑制するために、一定規模以上の宅地開発の際に宅地開発指導要綱に基づき第一種低層住居専用地域及び第二種低層住居専用地域では最低敷地面積を120㎡以上、その他の用途地域では100㎡以上に分割するように指導しています。

今後も、地域特有の資源である国分寺崖線(はけ)のみどりや屋敷林、農地などの恵まれた自然環境をいかした住環境の整備を進めていく必要があります。

### 3. 施策の方向性(目指す姿)

市民や事業者の参加・協力と、国や東京都との連携により、周辺環境との調和のとれた快適な住環境を目指した土地利用の誘導を進めます。

施策分野	住宅・住環境
------	--------

### 1. 施策名

No.	14	安全で良質な住環境の整備	
-----	----	--------------	--

### 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

平成23年3月に東日本大震災が発生し、首都直下地震の切迫性が高まるなど、社会情勢が大きく変化しています。小金井市では、平成24年3月に住宅マスタープランを策定し、まちづくりと連動した柔軟な住宅施策を推進してきました。また、耐震改修促進計画を改定し、新たに平成32年度までの目標等を定め、木造住宅の耐震化助成、特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化助成等を実施しております。平成26年度には無料簡易診断事業を開始し、地震に対する住宅の安全性の意識の啓発、耐震診断に対する知識の普及を図っています。

また、東京都と協力し、災害時の輸送等を円滑に行うため、緊急輸送道路に指定されている連雀通りと小金井街道の整備を進めています。

今後も、快適で安全な住環境の整備、災害に強いまちづくりを推進する必要があります。

また、高齢者自立支援住宅改修給付事業などにより高齢者や身体の不自由な方の住宅のバリアフリー化を支援してきたところですが、高齢社会の拡大により、今後も需要が見込まれます。

### 3. 施策の方向性(目指す姿)

市民、事業者の参加・協力と、国・東京都との連携により、良質な住宅の供給を図るとともに、耐震化、防災・安全施設の整備や施設のバリアフリー化により、安全な住環境の整備、災害に強いまちづくりの推進を図ります。

施策分野	住宅・住環境
------	--------

### 1. 施策名

No.	15	下水道の維持管理	
-----	----	----------	--

### 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

小金井市公共下水道建設事業は昭和44年に開始され、昭和62年4月に下水道整備率100%を達成し、基本インフラとして市民の公衆衛生に寄与してきました。

これまで小金井市下水道総合地震対策計画に基づき管きよの耐震化や、合流式下水道の改善工事等を行ってきました。また、特定事業場等に対する水質検査を通じ、排水基準等の指導をしてきました。

今後、老朽化を迎える管きよの長寿命化対策が重要課題となっており、管きよの耐震化及び経営の健全化のため公営企業会計の導入なども課題となっています。

### 3. 施策の方向性(目指す姿)

下水道については、管路の耐震化・合流式下水道の改善・長寿命化対策など、維持管理の充実を図ります。

施策分野	道路・河川
------	-------

## 1. 施策名

No.	16	道路の整備	
-----	----	-------	--

## 2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

私たちの住む小金井市は、都市計画道路の整備率は平成21年度末では39.5%でしたが、平成25年度末で44.5%まで整備が完了し、着実に整備が進んでいます。

—しかし、依然として幅員の狭い道路が多く、道路や橋梁の安全性向上とバリアフリー化が強く求められているため、今後も関係者のご協力を得ながら、計画的に継続して整備する必要があります。

都市計画道路の整備については着工中の3路線(都市計画道路3・4・3号線(連雀通り中町四丁目付近)、3・4・12号線(緑中央通り)及び3・4・14号線(小金井街道中央線以南))は、いずれも用地取得率が高く、事業終末に差しかかっています。既に道路として開放された部分では、通行者に安心・安全な交通環境を提供することができました。一方新たに整備着手した3・4・8号線(中央線北側梶野町一丁目付近)は用地取得を開始し、3・4・1号線(連雀通り東町五丁目付近)は用地取得に向けて説明会を開催いたしました。

側道整備に関してはJR中央本線連続立体交差事業の完了に伴い、関連する側道は5路線中4路線が全線開通しており、いずれも市内沿線コミュニティの連結に寄与しています。

## 3. 施策の方向性(目指す姿)

JR中央本線連続立体交差事業が完了し、南北交通の円滑化が実現したところですが、武蔵小金井駅及び東小金井駅の両駅周辺では都市基盤整備が進捗しており、駅周辺及びJR中央線沿線のみならず地域全体の交通の円滑化を目指します。

歩道と車道を分離することによる交通安全性の向上、この他、大規模災害時に、ライフラインの堅持や避難経路の確保並びに延焼遮断機能を備えるために、計画幅員による道路拡幅整備を推進します。

橋梁の適正な維持管理により交通環境の安全確保を促進します。

施策分野	道路・河川
------	-------

1. 施策名		
No.	17	人にやさしい交通環境の整備

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)		
<p>高齢者や障がいのある方を含むすべての市民が安全に行動できる交通環境の形成をめざすため、これまで、武蔵小金井駅南口市街地再開発事業及び東小金井駅北口土地区画整理事業、都市計画道路整備等に伴い、歩道等のバリアフリー化及び電線類の地中化を実施してきました。</p> <p>また、その他歩道の一部段差解消など適宜行い、放置自転車については毎年減少傾向にある等、一定の整備を図りました。</p> <p>しかし、都内における平成25年中の交通事故死者数の中で、歩行中・自転車乗車中の死者の割合が高いなど交通事故情勢は依然として厳しい状況が続いており、さらなる安心・安全な交通環境の整備を推し進めていく必要があります。</p>		

3. 施策の方向性(目指す姿)		
<p>今後の市街地再開発事業及び東小金井駅北口土地区画整理事業、都市計画道路整備等において、引き続き、バリアフリー化及び電線類の地中化を推進すると共に、放置自転車をさらに減少させることにより、人にやさしい安全で快適な交通環境の確保を図ります。</p> <p>また、必要に応じて交通安全施設を設置し、交通安全教育の実施するなど、交通安全に関する意識の向上を図ります。</p>		

施策分野	道路・河川
------	-------

1. 施策名	
No.	18 公共交通機関の整備

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)
<p>私たちの住む小金井市では、発達した市内のバス網に加え、交通不便とされた地域にもコミュニティバス「CoCoバス」が5路線運行し、1日平均3,000人強の市民の足となっています。</p> <p>しかし、運行開始から10年以上が経過し、その間のJR中央本線連続立体交差事業や武蔵小金井駅南口再開発事業、進捗している東小金井駅北口区画整理事業等に伴い、市内の交通現況及び市民ニーズが変化しています。</p> <p>また、駐輪場については放置自転車対策及び通勤・通学、買い物などにも便利な駅周辺への確保も依然として強く要望されています。</p> <p>武蔵小金井駅及び東小金井駅の西側高架下に自転車駐車を設置・開設しましたが、特に武蔵小金井駅周辺については収容台数が不足しており、また、既存の駐輪場が今後閉鎖になる可能性もあることから、更なる駐輪場の確保が必要とされています。</p>

3. 施策の方向性(目指す姿)
<p>コミュニティバスのさらなる充実を図るため、総合的な見直しを行い、円滑で利便性に優れた交通環境の整備を促進し、環境負荷の低減を図ります。</p> <p>駐輪場については今後もさらに整備を進め、今後の駐輪場の閉鎖の可能性もある中、小金井市自転車等駐車場整備計画に基づいた目標台数を維持していき、安全で快適な自転車利用空間づくりを推進します。</p>

施策分野	道路・河川
------	-------

1. 施策名		
No.	19	河川などの整備

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)		
<p>私たちの住む小金井市は、野川、仙川、玉川上水などの水辺の環境に恵まれており、豊かな生態系や景観を形成する水辺は貴重な自然環境として、位置付けられています。</p> <p>また、市民意向調査では、「環境に配慮した河川の整備」について「満足している」との回答が半数以上を占めるなど、市民の憩いの場所となっていると考えられます。</p> <p>このような自然環境を守るため、野川・仙川改修促進期成同盟を通じた東京都への要望を行うとともに、定期的に、「野川流域連絡会」に参加し、活動支援施設の費用の一部を負担するなど自然再生事業に協力しています。</p> <p>こうした取組により従来の乾性草地から、田んぼ湿地等の多様な水環境が誕生するなど水環境の風景が再現されつつあります。</p> <p>野川第一調整池及び第二調整池周辺は希少で身近な自然を有している地域ですが、放置しておく、自然環境の過度の攪乱と衰退がもたらされると危惧されているため、今後も引き続き、自然再生事業に取り組む必要があります。</p>		

3. 施策の方向性(目指す姿)		
<p>野川については市民が憩う親水の場としての整備や災害に強い河川とするよう、また、仙川についてはせせらぎを持った遊歩道としての整備を東京都に要望します。</p>		

平成26年度

# 施策マネジメント評価結果



平成26年10月

小金井市

## 目 次

1	施策マネジメントの目的	P. 2
2	評価対象施策及び事務事業	P. 2
3	評価方法	P. 2
4	最終評価分野別集計表	P. 3
5	評価結果一覧表	
	➤ 環境と都市基盤	P. 4
	➤ 地域と経済	P. 5
	➤ 文化と教育	P. 6
	➤ 福祉と健康	P. 7
	➤ 計画の推進	P. 8
6	シートの見方	P. 9

## 1 施策マネジメントの目的

### (1) P D C Aサイクルの定着

施策マネジメントは、「施策の課題」を認識するためのツールであり、施策のP D C Aサイクルを通じて、施策及び事務事業の不断の見直しを行う仕組みを確立し、効果的・効率的な行財政運営の実現を目指します。

### (2) 施策の着実な推進

第4次基本構想・前期基本計画（以下、「小金井しあわせプラン」という。）の目標に対して、現状及び進捗状況などを「見える化」することにより、その事業が施策を推進する上で貢献できているのか等を検証し、施策の着実な推進を図ります。

### (3) 目標や課題の共有化

施策の目標や抱える課題を組織で「共有化」することにより、小金井しあわせプランを再認識・再確認するとともに、施策の方向性に沿った事業展開を図ります。

## 2 評価対象施策及び事務事業

施策マネジメントは、施策評価と事務事業評価の2段階で評価しています。

<施策評価> 全48施策

小金井しあわせプランの重点プロジェクトに該当する施策が評価対象です。

<事務事業評価> 全110事業

前期基本計画に位置付けられた事務事業（小金井しあわせプランの「主な事業」）が評価対象です。

○評価対象施策及び事務事業数

	環境と都市基盤	地域と経済	文化と教育	福祉と健康	計画の推進	合計
施策数	11	10	11	12	4	48
事務事業数	30	22	21	21	16	110

## 3 評価方法

まず、事務事業評価を行い、その結果を受けて施策評価を行います。

事務事業評価については、「主な事業」の担当課が、成果活動指標（小金井しあわせプランで設定されている平成27年度までに達成すべき指標及び活動）の達成状況、事業の進捗状況、効率性それぞれについて、自己評価をしています。また、その評価を踏まえて、平成27年度の成果活動指標の達成に向けた今後の展開及び事業実施における課題点を示しています。

施策評価については、事務事業評価の結果を受けて、施策の総括担当（重点プロジェクトに該当する「主な事業」の担当課又は庶務担当課）が一次評価をしています。最終評価については、その事務事業評価及び一次評価を踏まえて、市としての今後の方向性及び事業を進める上での課題を記載しています。

この最終評価結果は、実施計画へ反映することにより予算との連動を図ります。「主な事業」の担当課は、示された課題を十分に踏まえて事業を見直しし、次年度以降の事業計画及び予算編成を行うものとします。

#### 4 最終評価分野別集計表

最終評価	環境と都市基盤		地域と経済		文化と教育		福祉と健康		計画の推進		合計	
	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比
A	0	0.0%	3	30.0%	4	36.3%	5	41.6%	0	0.0%	12	25.1%
B	11	100.0%	5	50.0%	6	54.5%	6	50.0%	4	100.0%	32	66.6%
C	0	0.0%	2	20.0%	1	9.0%	1	8.3%	0	0.0%	4	8.3%
合計	11	100.0%	10	100.0%	11	100.0%	12	100.0%	4	100.0%	48	100.0%

#### <最終評価の評価基準>

「A」…**推進**（指標の達成が順調であり、施策への貢献度も高い事業である。）

「B」…**一部課題あり**（事業としては推進していく方向だが、見直しが必要な課題がある。）

「C」…**課題あり**（事業実施にあたって、方向性の転換や根本的に見直しが必要な課題がある。）

（参考）

#### <事務事業評価の評価基準>

##### ●指標

「A」…指標を達成している。

「B」…指標の達成に向け事業は実施している。

「C」…指標を大きく下回る。

「-」…指標が不明又は指標が測れない。

##### ●事業進捗

「A」…事業進捗は計画どおりである。

「B」…計画より遅れているが、事業は進捗している。

「C」…事業が計画より大きく遅れている。

##### ●効率性

「A」…経費節減に寄与している。

「B」…経費節減の努力はしているが、効果が上がっていない。節減の余地がない。

「C」…経費節減の具体的な取組を検討していない。

## 5 評価結果一覧表

### 1 みどりあふれる快適で人にやさしいまち【環境と都市基盤】

柱	施策	コード	最終評価	前年度最終評価	事務事業評価(自己評価)						※参考		
					事業名	担当課	25年度			24年度			
							指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性	
みどりあふれる快適で人にやさしいまち【環境と都市基盤】	みどりを育む仕組みづくり	A01-01	B	A	環境基本計画の推進と策定	環境政策課	A	A	B	B	B	B	
					花壇ボランティア、環境美化サポーター制度などの充実	環境政策課	A	A	B	A	A	B	
	みどりの保全	A01-02	B	B	緑の基本計画によるまとまったみどりの保全	環境政策課	B	B	B	B	B	B	
	みどりの創出	A01-03	B	B	東小金井駅北口の公園整備	区画整理課	B	B	B	B	B	B	
					小長久保公園の整備	環境政策課	A	A	B	A	A	B	
					都市計画道路の緑化	道路管理課	B	B	B	B	B	B	
	水辺の拡大	A01-04			雨水浸透・貯留施設設置への助成	下水道課	A	A	A				
	循環社会の形成	A02-05	B	B	ごみ削減ノウハウ集の作成	ごみ対策課	A	A	A	A	A	B	
					有機性資源の循環システムの構築	ごみ対策課	A	A	B	A	A	B	
	ごみの処理	A02-06	B	B	可燃ごみ処理体制の確立	ごみ処理施設担当	B	A	B	B	A	B	
					中間処理場の再整備	中間処理場担当	B	B	B	B	B	B	
	まちの美化	A02-07			ごみゼロ化推進員による活動の充実	ごみ対策課	A	A	B				
	環境にやさしい仕組みづくり	A03-08			環境博覧会などの環境啓発事業の充実	環境政策課	A	A	B				
	地球環境への負荷の軽減	A03-09	B	B	省エネルギー施設助成事業の実施	環境政策課	B	A	B	B	A	B	
					(仮称)エコ・モデルハウスの整備	環境政策課	B	B	B	B	B	B	
	公害発生防止体制の充実	A03-10			公害に関する監視体制の継続	環境政策課	A	A	B				
	まちの顔となる駅周辺の整備	A04-11	B	B	JR中央本線連続立体交差事業の推進	都市計画課	A	A	B	B	B	B	
					武蔵小金井駅南口市街地再開発事業の推進	まちづくり推進課	A	A	B	B	A	B	
					東小金井駅北口土地区画整理事業の推進	区画整理課	A	B	B	B	B	B	
	魅力的な市街地	A04-12	B	B	地区計画の推進	まちづくり推進課	B	A	B	B	A	B	
	良質な住宅の供給	A05-13	B	A	高齢者自立支援住宅改修給付事業の充実	介護福祉課	B	A	B	A	A	B	
快適な住環境の整備	A05-14			都市計画や地区計画などによる住環境の維持	都市計画課 まちづくり推進課	A	B	B					
安全な住環境の整備	A05-15			耐震助成事業の充実	まちづくり推進課	A	A	B					
水の安定供給	A05-16			地下水源の整備	下水道課								
下水道の維持管理	A05-17			下水道施設耐震化の推進	下水道課	A	A	A					
道路の整備	A06-18	B	B	整備中の都市計画道路の整備(3・4・3号線、3・4・12号線、3・4・14号線)	都市計画課 道路管理課	B	B	B	B	B	B		
				未着工の都市計画道路の整備(3・4・1号線、3・4・8号線)	都市計画課 道路管理課	B	B	B	B	B	B		
				JR中央本線連続立体交差事業側道整備	都市計画課 道路管理課	B	B	B	B	B	B		
公共交通機関の整備	A06-20	B	C	駐輪場の整備	交通対策課	B	A	A	-	A	A		
河川などの整備	A06-21			自然再生事業(野川調節池周辺)の推進	環境政策課	B	B	B					

重点プロジェクトに該当する施策は色塗りになっています。

## 2 ふれあいと活力のあるまち【地域と経済】

柱	施策	コード	最終評価	前年度最終評価	事務事業評価(自己評価)						※参考		
					事業名	担当課	25年度			24年度			
							指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性	
ふれあいと活力のあるまち【地域と経済】	協働のまちづくりの推進	B07-22	B	B	(仮称)市民協働支援センターの整備	コミュニティ文化課	-	B	B	-	B	B	
	地域情報ネットワークの推進	B07-23	C	C	コミュニティポータルサイト拡充の支援	情報システム課	C	C	B	C	C	B	
	危機管理体制の充実	B08-24	/	/	危機管理体制の強化	地域安全課	-	B	A	/	/	/	
	防災コミュニティづくり	B08-25	A	A	自主防災組織の育成	地域安全課	A	A	B	A	A	B	
	防災機能の強化	B08-26	/	/	消防団分団詰所の耐震補強	地域安全課	-	A	A	/	/	/	
					防災センターの整備	地域安全課	C	A	B	/	/	/	
	防犯体制の強化	B08-27	A	A	こがねいし安全・安心あいさつ運動の充実	地域安全課	A	A	B	A	A	B	
	産業振興の計画的推進	B08-28	/	/	産業振興プランの策定と推進	経済課	-	A	B	/	/	/	
	産業基盤の整備	B09-29	B	B	ベンチャー・SOHO事務所の整備	経済課	A	A	B	A	B	B	
	創造的産業の支援	B09-30	B	B	農工大・多摩小金井ベンチャーポート家賃補助の継続	経済課	A	A	B	A	A	B	
	商業振興の計画的推進	B10-31	/	/	産業振興プランの推進	経済課	-	A	B	/	/	/	
	商業環境の整備	B10-32	B	B	商店街振興モデル地区の推進	経済課	B	A	A	-	A	A	
	魅力ある商業・商店街づくりの推進	B10-33	C	C	黄金井名物マップの整備(コミュニティポータルサイト内)	経済課	A	C	B	A	C	B	
	地域商業の育成・支援	B10-34	/	/	黄金井あきないカレッジの開校と充実	経済課	C	C	B	/	/	/	
	地域資源をいかした観光の推進	B10-35	B	B	桜まつりなどの充実 ※桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどい	経済課	B	A	A	B	A	A	
	工業の振興	B11-36	/	/	ふれあい工業イベントの実施	経済課	C	A	A	/	/	/	
	農業基盤の確立	B12-37	/	/	認定認証農業者の育成・支援の充実	経済課	B	A	A	/	/	/	
農産物直売所の整備					経済課	A	A	A	/	/	/		
農業との交流促進	B12-38	A	A	市民農園・体験農園の拡充	経済課	A	B	A	A	A	A		
安全安心な消費生活支援	B13-39	/	/	消費者相談の拡充	経済課	B	A	A	/	/	/		
勤労者福祉の向上	B13-40	/	/	勤労者福祉サービスセンター登録者向上キャンペーンの実施	経済課	C	C	B	/	/	/		
雇用機会の拡大	B14-41	/	/	こがねい仕事ネットの充実	経済課	B	A	B	/	/	/		

重点プロジェクトに該当する施策は色塗りになっています。

### 3 豊かな人間性と次世代の夢を育むまち【文化と教育】

柱	施策	コード	最終評価	前年度最終評価	事務事業評価(自己評価)						※参考		
					事業名	担当課	25年度			24年度			
							指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性	
豊かな人間性と次世代の夢を育むまち【文化と教育】	総合的な文化振興の推進	C15-42	/	/	芸術文化振興計画の推進	コミュニティ文化課	B	A	A	/	/	/	
					市史(現代編・近代編・近世編)の計画的な刊行	生涯学習課	A	B	B	/	/	/	
					玉川上水及び名勝小金井(サクラ)の整備活用	生涯学習課	-	A	B	/	/	/	
	文化施設の効率運営	C15-43	B	B	はげの森美術館の企画展などの充実	コミュニティ文化課	B	A	A	B	A	A	
					市民交流センターの活用	コミュニティ文化課	A	A	B	A	A	B	
	文化交流の推進	C15-44	A	B	国際交流事業の充実	コミュニティ文化課	A	A	B	A	A	B	
	人権・平和に関する施策の推進	C16-45	A	B	非核平和事業・人権啓発事業の充実	広報秘書課	A	A	B	A	A	B	
	男女共同参画の推進	C16-46	B	B	(仮称)男女平等推進センター整備の検討	企画政策課	B	B	B	B	B	B	
	生涯学習の計画的推進	C17-47	/	/	生涯学習推進計画の推進	生涯学習課	-	B	B	/	/	/	
	活動の場の充実	C17-48	B	B	中央図書館の整備	図書館	B	B	B	B	B	B	
					(仮称)公民館貫井北分館・(仮称)図書館貫井北分室の整備	公民館	B	A	B	B	A	B	
	生涯学習活動の推進	C17-49	A	A	放課後子ども教室の拡充	生涯学習課	A	A	B	A	A	B	
	スポーツ・レクリエーション活動の支援	C18-50	B	B	スポーツ教室・スポーツ大会の充実	生涯学習課	B	B	B	B	B	B	
	スポーツ・レクリエーション施設の活用	C18-51	B	B	総合体育館の整備	生涯学習課	A	A	A	A	A	A	
	学校教育の計画的推進	C19-52	/	/	学校教育にかかわる「明日の小金井教育プラン」の実施	指導室	A	A	B	/	/	/	
	教育内容・教育方法の充実	C19-53	B	A	教職員の研究・研修の充実	指導室	B	A	A	A	A	A	
児童生徒によるボランティア活動の充実					指導室	B	A	A	B	A	A		
学習環境の整備・充実	C19-54	C	C	市立小・中学校の校庭芝生化の推進	庶務課	B	B	B	A	A	B		
				パソコン教室の整備	学務課	B	C	B	B	C	B		
家庭と地域の共同教育の推進	C20-55	A	A	子育て支援ネットワークへの幼稚園の参加促進	子育て支援課	A	A	A	A	A	A		
幼児教育の充実	C20-56	/	/	幼稚園児の保護者補助制度及び就園奨励費助成の継続	学務課	A	A	B	/	/	/		

重点プロジェクトに該当する施策は色塗りになっています。

#### 4 誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち【福祉と健康】

柱	施策	コード	最終評価	前年度最終評価	事務事業評価(自己評価)						※参考		
					事業名	担当課	25年度			24年度			
							指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性	
誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち【福祉と健康】	地域福祉の推進	D21-57	C	C	保健福祉総合計画の策定と推進	地域福祉課	-	C	B	-	-	-	
					福祉会館の整備	地域福祉課	B	B	B	B	B	B	
	低所得者・生活困窮者等福祉の充実	D21-58	/	/	被保護者自立支援プログラム事業の充実	地域福祉課	A	A	B	/	/	/	
	高齢者の活躍の場づくり	D22-59	B	B	高齢者いきいき活動の推進	介護福祉課	A	B	B	A	A	B	
	高齢者の生活支援	D22-60	B	B	認知症高齢者の支援	介護福祉課	A	B	B	A	B	B	
	介護予防事業の充実	D22-61	A	A	介護予防事業プログラムの充実	介護福祉課	A	A	B	A	A	B	
	介護保険事業の充実	D22-62	B	B	地域に密着したサービスの基盤整備	介護福祉課	B	B	A	B	B	A	
	子育て支援	D23-63	B	C	のびゆく子どもプランの達成率	子育て支援課	A	A	B	A	A	B	
					一・小・南小地区児童館の整備	児童青少年課	A	C	B	A	C	B	
	子育て家庭の支援	D23-64	B	B	けやき保育園・ピノキオ幼児園の移転	保育課	C	A	B	C	B	B	
					定員増に向けた学童保育所の整備	児童青少年課	A	A	A	A	A	A	
					母子自立支援プログラム策定事業の充実	子育て支援課	A	A	A	A	A	A	
					発達支援センターの整備	自立生活支援課	A	A	A	B	A	A	
	地域の子育て・子育て環境の充実	D23-65	A	A	子育て支援ネットワークの充実	子育て支援課	A	A	B	A	A	A	
	ノーマライゼーションの推進	D24-66	A	A	障害者就労支援センター事業の充実	自立生活支援課	A	A	B	A	A	B	
	日常生活の支援	D24-67	A	A	サービス供給体制の充実	自立生活支援課	A	A	B	A	A	B	
	医療との連携	D24-68	/	/	相談機能の充実	自立生活支援課	A	A	C	/	/	/	
保健活動の充実	D25-69	B	B	がん検診の充実	健康課	B	A	B	B	A	B		
医療体制の充実	D25-70	A	A	休日・休日準夜診療の継続	健康課	A	A	B	A	A	B		
				武蔵野赤十字病院との小児救急医療の協力関係の継続	健康課	A	A	B	A	A	B		
医療保障制度の充実	D25-71	/	/	国民健康保険における資格調査などの推進	保険年金課	A	A	B	/	/	/		

重点プロジェクトに該当する施策は色塗りになっています。

基本構想実現のために【計画の推進】

柱	施策	コード	最終評価	前年度最終評価	事務事業評価(自己評価)						※参考		
					事業名	担当課	25年度			24年度			
							指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性	
基本構想実現のために【計画の推進】	市民ニーズの把握と共有化	E26-72	B	B	市民意向調査の充実	企画政策課	B	B	B	B	B	B	
	わかりやすい情報発信と適正な情報管理	E26-73			市ホームページの充実	情報システム課	A	A	A				
	市民参加の推進	E26-74	B	B	審議会などの公募市民の拡充	企画政策課	B	A	B	A	A	A	
	市民協働の推進	E26-75	B	B	市職員への市民協働研修の充実	コミュニティ文化課	B	A	A	B	A	A	
	更なる行財政改革の推進	E27-76			第3次行財政改革大綱の推進	企画政策課	A	A	B				
	組織の活性化と人材の育成・活用	E27-77			実践的な独自研修の実施	職員課	B	A	B				
	自律した行政経営の実現	E27-78				行政評価制度の見直し	企画政策課	-	-	-			
						(仮称)東小金井市政センターの整備	企画政策課 市民課	B	B	B			
	計画とマネジメントの整備	E28-79	B	C	新庁舎の建設	企画政策課	-	B	B	-	B	B	
					施策マネジメントの実施	企画政策課	-	B	B	-	C	B	
					後期基本計画の策定	企画政策課	-	A	B	-	B	B	
					実施計画の策定	企画政策課	-	B	B	-	B	B	
	広域行政の推進	E28-80			広域行政サービスのPR	企画政策課	-	A	B				
	安定した財政運営の確立	E29-81			中期財政計画に基づく財政運営の推進	企画政策課	B	B	B				
歳入の安定	E29-82			徴収体制強化などの実施	納税課	B	A	B					
歳出の適正化	E29-83			職員数の削減	企画政策課	B	A	A					

重点プロジェクトに該当する施策は色塗りになっています。

# 6 シートの見方

## 施策評価シート

### 1 施策の基本情報

施策名	計画とマネジメントの整備	E28-79	総括担当 ①
施策分野	計画的行政	E28	企画政策課
施策の方向性	基本構想に基づいた総合的かつ計画的な市政運営を推進するため、施策の具体化とその実現方法を明らかにする「基本計画」、その事業と財政の裏づけを明らかにする「実施計画」を策定する。そして、「施策マネジメント」において、施策及び事務事業の不断の見直しを行い、計画の目標達成を目指す。また、新庁舎の建設や施設整備等を計画的に推進する。		関連課 ② 企画政策課

### ①【総括担当】

施策の中で重点プロジェクトに該当する主な事業の担当課（又は庶務担当課）が施策評価シートの総括をしています。

### ②【関連課】

施策を構成する主な事業の担当課

### 2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

事業名	成果活動指標	評価					
		H23	H24	H25	H26	H27	
新庁舎の建設	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	③ 指標	-	-	-	-	-
		④ 事業進捗	B	B	B	B	B
		⑤ 効率性	B	B	B	B	B
施策マネジメントの実施	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	指標	-	-	-	-	-
		事業進捗	C	C	B	B	B
		効率性	B	B	B	B	B
後期基本計画の策定	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	指標	-	-	-	-	-
		事業進捗	B	B	A	A	A
		効率性	B	B	B	B	B
実施計画の策定	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	指標	-	-	-	-	-
		事業進捗	B	B	B	B	B
		効率性	B	B	B	B	B

### ③【指標】

- A・・・指標を達成している。
- B・・・指標の達成に向け事業は実施している。
- C・・・指標を大きく下回る。
- －・・・指標が不明又は指標が測れない。

### ④【事業進捗】

- A・・・事業進捗は計画どおりである。
- B・・・計画より遅れているが、事業は進捗している。
- C・・・事業が計画より大きく遅れている。

### 3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

事業名	予算名称 ⑥	担当課	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (決算)	H26 (予算)	H27 (予算)
新庁舎の建設	新庁舎建設調査に要する経費	企画政策課	7,679	5,454	-	33,119	-
施策マネジメントの実施	-	企画政策課	-	-	-	-	-
後期基本計画の策定	-	企画政策課	-	-	-	8,082	-
実施計画の策定	-	企画政策課	-	-	-	-	-

### ⑤【効率性】

- A・・・経費節減に寄与している。
- B・・・経費節減の努力はしているが、効果が上がっていない。節減の余地がない。
- C・・・経費節減の具体的な取組を検討していない。

### 4 一次評価 ⑦

・施策の進捗については、平成25年度に実施した施策マネジメントで確認した68項目の達成率は、45.6%であった。27年度の目標達成(80%)に向けて、施策マネジメント制度の確立並びに庁内における定着が必要である。  
 ・後期基本計画の策定にあたっては、計画策定段階において、各施策の目的や目標を明確にし、毎年度達成率が測れる指標を設定する必要がある。  
 ・また、実施計画については、昨今の社会経済情勢の動向、本市の財政状況等を踏まえ、市政運営上の総合的な判断に基づき、選択と集中による効果的な財源配分に努める必要がある。  
 ・新庁舎の建設については、「新庁舎建設基本計画」のスケジュールに沿って、財源の見直しをしっかりと立てながら新庁舎建設を着実に進めていくため、あらゆる方策を検討する必要がある。

### 5 最終評価 ⑧

評価	(特記意見)
B	
25年度評価(C)	(課題)
A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり	新庁舎の建設については、新庁舎建設基本計画に示したスケジュールに沿って財源の見直しを立てながら着実に進められているところだが、既定の財源計画の成否が定かでない状況である。社会情勢等を踏まえ、適切な判断が求められる。 施策マネジメントについては、26年度に評価対象事業を拡大することにより一定の進捗は見られるが、今後も制度の検証を図っていく必要がある。

### ⑥【予算名称】

主な事業に係る予算の名称を記載しています。予算が他の事業も含んでいる場合には、「〇〇に要する経費(一部)」としています。主な事業に係る予算がない場合には「-」としています。

### ⑦【一次評価】(総括担当課による自己評価)

#### ○施策の進捗状況の評価

前期基本計画では、成果活動指標の達成度合いが、施策の進捗の目安であるとの考え方であるため、主な事業の評価を踏まえて、施策の進捗を評価しています。

#### ○施策への有効性・貢献度

主な事業が施策を推進する上で貢献しているのか、有効に機能しているのかという点で評価しています。

### ⑧【最終評価】

施策を構成する主な事業の評価(自己評価)と一次評価(自己評価)を踏まえ、市としての最終評価をしています。

- A・・・推進(指標の達成が順調であり、施策への貢献度も高い事業である。)
- B・・・一部課題あり(事業としては推進していく方向だが、見直しが必要な課題がある。)
- C・・・課題あり(事業実施にあたって、方向性の転換や根本的に見直しが必要な課題がある。)

専務事業評価シート

【基本情報】

1	成果活動指標	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	3	重点プロジェクト
2	主要事業 後期基本計画の策定	事業概要 後期基本構想の将来像を実現するために、重点政策などに基づき重点プロジェクトを設定し、施策分野別に現況と課題を明らかにして施策を具体化・体系化する基本計画を策定する。 長期計画審議会、ワーキンググループ、市民フォーラム等の市民参加の手法を取り入れて、市民の意見等を反映させた計画を策定していく。また、策定本部、専門部会、策定研究会等の庁内組織を設置し、全庁あげて策定に取り組んでいく。	4	担当課
5	関連する法令・計画等	なし	5	担当課

【「主要事業」に対する評価等】

6	7	8	9		10		11		12		13		14	
			計画(Plan)	実施(Do)	指標結果	決算額(千円)	実施経過・結果	指標	事業進捗	効率性	評価の説明			
23年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24年度	20%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25年度	40%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26年度	60%	検討	8,082	後期基本計画策定に係る基本方針・スケジュール等 の検討を行い、庁内の策定本部において、基本方針等を決定する。	後期基本計画策定に当たっての基礎資料の収集 （ワーキンググループ及び市民意向調査の実施、 庁内体制として、専門部会及び研究会を設置する。 また、年度末には、市民参加による長期計画審議会 を設置し、後期基本計画の策定を諮問する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27年度	80%	実施	—	平成27年度末までに「第4次基本構想・後期基本計画」を策定する。	平成27年度末までに「第4次基本構想・後期基本計画」を策定する。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	評価を踏まえた今後の展開(Action)	推進	○	展開/課題	展開/課題	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		現状維持	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
改善	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縮小	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
完了・中止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- 【指標】※成果活動指標に対する評価  
A・・・指標を達成している。  
B・・・指標の達成に向け事業は実施している。  
C・・・指標を大きく下回る。  
—・・・指標が不明又は指標が測れない。
- 【評価の説明】  
指標、事業進捗、効率性それぞれについて、その評価にした説明を記載しています。
- 【評価を踏まえた今後の展開】  
評価を踏まえた次年度以降の展開及び事業実施における課題点を記載しています。

- 【事業進捗】  
A・・・事業進捗は計画どおりである。  
B・・・計画より遅れているが、事業は進捗している。  
C・・・事業が計画より大きく遅れている。
- 【効率性】※事業実施に際して経費削減に努めたか。  
A・・・経費削減に寄与している。  
B・・・経費削減の努力はしているが、効果が上がっていない。削減の余地がない。  
C・・・経費削減の具体的な取組を検討していない。

- ①【成果活動指標】  
前期基本計画で設定されている平成27年度までに達成すべき指標及び活動
- ②【主要事業】  
施策を推進するため前期基本計画に位置付けられている事業
- ③【重点プロジェクト】  
「主要事業」が、前期基本計画の重点プロジェクトに該当する場合は、そのプロジェクト名称を記載しています。
- ④【関連する法令・計画等】  
「主要事業」の実施に係る根拠となる法律、条例、要綱、計画等がある場合に、その名称等を記載しています。
- ⑤【担当課】  
「主要事業」の担当課
- ⑥【成果活動指標】  
前期基本計画で平成27年度の達成すべき指標が設定されていますが、平成24～26年度については指標の設定がなかったため、今回新たに年度ごとの指標の数値目標を記載しています。  
※現状と目標を考慮した上で、均等に按分するなどして数値目標を設定しています。
- ⑦【事業進捗】  
前期基本計画で設定されている「主要事業」の進捗目標
- ⑧【予算額】  
「主要事業」に係る予算額を記載しています。※当初予算額
- ⑨【具体的取組内容】  
「主要事業」を進めていく上で、年度ごとの具体的な取組内容の計画を記載しています。
- ⑩【指標結果】  
成果活動指標の年度ごとの結果  
※指標が毎年把握できないものについては「-」としていきます。
- ⑪【決算額】  
「主要事業」にかかった決算額を記載しています。
- ⑫【実施経過・結果】  
計画の具体的取組内容に対して、実際に取り組んだ実績及び結果